

リカバリーサポートの上半期、報告 相談件数は 401 件で前年同期比 188 件の減少

は おちんこ 依存問題の相談機関「リカバリーサポート・ネットワーク」の平成 19 年度上半期の活動は、相談件数（4～9月まで）が前年同期比で 188 件減少し 401 件となったが、相談者の内訳は「問題を抱える本人」からの相談が昨年より増加し、全体の半数を占めた。全日遊連の記者会見の席で明らかにされたもの。

昨年は設立当初にマスコミ等に取り

上げられたこともあり“相談経路”は「新聞」が 25% と最も多かったが、上期の“相談経路”では、「ホール内ポスター」が 31% と最も多く、次いで「新聞」（19%）、「インターネット」（18%）の順となった。しかも当初の相談の多くが、問題を抱える人の家族からの相談が多かったが、全日遊連の告知掲示ポスターなどの影響もあってか「本人」からの相談が昨年より増加した。